

## 『奇跡の毎日を』

2023年3月4日

年長さんは卒園式間近ですね。世の中は混乱の3年間でした。無事に乗り切れた保護者の皆さま、卒園児の皆さま、幼稚園の先生方、おめでとうございます。また新たなる場所で、子どもたちが今より自由に生き生きと過ごせることを信じています。

今週、長女が男の子を出産しました。末っ子は8才でおじさんとなりました。24時間苦しんだ後の、急きよの帝王切開でした。出産はやはり命がけですね。お知らせしたママさんたちから「私も大変でした！」の声をたくさん聞きました。どのママにもどの出産にも親子命がけのドラマ有りです。

まさに子どもの誕生とは当たり前ではなく、奇跡なのだあらためて思います。今朝「おはよう」と子どもを起こせたのは、当たり前でしょうか。幼稚園から電話がなく、バスから「ただいま」と降りて来たのは、当たり前でしょうか。「当たり前」の反対は「有り難い」です。

子どもと過ごす毎日は、本当は有ることが難しい、奇跡の毎日なのです。それでも、私たちは、日々当たり前慣れてしまい、どんどん欲張りになります。「なんで呼んだらすぐに起きないの？」

「せっかく始めた水泳をやめたいって何？」  
「もう少し落ち着きがあったら」 小学校へ行ったら、なおさらです。休まないで、忘れ物をしないで、友だちとは仲良く、授業中は静かに！



いやいや、ママ、僕が生まれただけで泣いてくれたよね？

人間はついつい欲張りになってしまいますが、たまには自分に起こっている「奇跡」を味わってもいいですよ。

私たち自身もまたお母さんから命がけで生まれた奇跡なのですから。そして、今関わるすべての人たちも、その人のお母さんが命をかけて産んだ「奇跡」なのです。

みんな当たり前じゃない今日一日を迎えたのです。そんなふうに考えてくれるママと一緒に、子どもたちは大丈夫ですよ。必ず、新しい場所で自分の毎日をやっていきますよ。